

PV 期が終了し、すべての IRC の機能が正常に動作していることが確認されました。すべての AOT が実行可能であることが確認されています。但し、一部の観測は姿勢精度に左右される場合があります。性能についての解析が進められていますが、現在のところ感度については、Observer's manual に記載されている値がほぼ確認されています。正確な数字は詳細な解析終了後にまとめますが、現段階ではマニュアルの値に従ってこれまで通り観測計画を検討願います。なお、飽和限界及び PSF については、PV 期の測定値に基づき、マニュアルの値を修正します。以下の値をご使用ください。

飽和限界 (今回、参考のために short 及び long frame の両方に対して値を示しています。なお、サンプリングが異なることから、飽和限界の比は露出時間の比にはならないことにご注意ください)。該当 AOT は AOT00, AOT02, AOT03 です。参考までに Observer's manual の値もつけてあります(short)。MIR-S のバンドの値が大幅に変わっていることにご注意ください。

バンド	Obs. Manual (mJy)	改定値 (short) (mJy)	改定値 (long) (mJy)
N2	780	510	13
N3	250	210	6
N4	360	330	9
S7	1800	6400	57
S9W	1000	3100	27
S11	1800	4600	40
L15	2500	5700	50
L18W	3200	4500	39
L24	23000	22000	200

PSF 大幅な修正のある NIR/MIR-S の値を示します。MIR-L についてはマニュアルの値通りです。

バンド	Obs. Manual (pix)	改定値 (pix)
N2	1.85	2.4
N3	1.47	2.9
N4	1.34	2.9
S7	1.22	2.2
S9W	1.39	2.2
S11	1.52	2.2

なお、NIR については、姿勢安定度により PSF が決まる場合があります。これについては、姿勢関係の方のアナウンスをご参照ください。